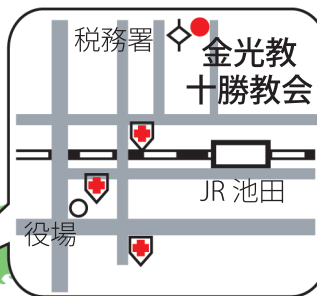
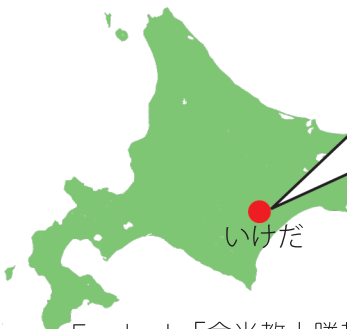


No.106, 2025, Apr.,

4月・天地金乃神大祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213金光教十勝教会
〒083-0001Facebook「金光教十勝教会」池田町旭町1-9
<https://konkotokachi.stars.ne.jp>

十勝教会 だより 106



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP

初代先生、神様とであう 昭和百年の十勝教会

金光教十勝教会

十勝教会初代教会長・玉置藤太先生は、大正十五年四月五日、今の足寄町大誉地での講社月例祭の最中に昏倒し、翌六日、息を引き取られました。享年五十七才、今から九十九年前のことです。その年の十二月二十五日、元号が大正から昭和へと変わります。一つの時代が終わり、新しい時代へと移り変わっていく節目のことでした。

正式な百年の式年は来年ですが、大正から昭和という時代の節目にお亡くなりになったのも何か意味があることかと思えます。昭和百年の今年、春の御大祭に併せ、繰り上げて初代先生の百年祭をお仕えすることになりました。



初代先生の入信は大正二年、当時すでに四十三才。しかもそれまでは「神仏に願って御利益をえるなど迷信に他ならん」という考えだったようです。

金光教どころか宗教自体を否定的に見ていた初代先生が、その考えを百八十度かえ信心一筋になった、いったい何があつたのでしょうか？

初代先生の入信のきっかけは、家族や自分の病気ですが、当然、神仏にすがろうなどとは思わず、医薬に頼っていました。しかし、医薬に頼り手を尽くしてもぜんぜん良くなりません。それを見かねた旧知の金光教の信者さん



青年時代の初代教会長（左）

北海道移住後の明治三十年以前、新十津川村の役場職員時代の写真。当時は信心などにはまったく関心がなかった。

が「神様に信心すればおかげがある」と自分の体験談を語り、熱心に信心をすすめてくれたのです。初代先生は「ウチのことを思っていることだし…」とその誠意への義理もあって、とりあえず「信心しましょう」と言って、その信者さんがお参りしていた教会の先生の名前を唱え、家族の病氣平癒を祈願したそうです。すると、早くも翌日には家族の病狀が改善します。その現実を目の当たりにした初代先生は、驚愕されるとともに大いに感動されたのとことです。

自分が信じていた医療＝科学・人間の知恵で良くならなかった病氣が、迷信だとさげすんでいた行為、神様に祈願することで改善した。それも自ら目撃し体験したのですから、感動と困惑が入り交じっていたことでしょう。

そして、これは想像になるのですが、初代先生が感心されたのは、金光教の信心が、祈祷者や靈能力者、祈祷力や呪力で助かるものではないということだと思われまゝ。それまでの初代先生

の持っていた祈念や祈願といったイメージ、特別な力を持った人に心配事の解決や自分の未来を任せるとか、自ら滝にうたれるとか、お百度参りとか特別なことをするのではなく、お取次を通じ神様を知り、その神様に自分の心を向けることで神様が働いてくださる、その部分に「この神様・信心は本物だ」と納得されたのではないかと思うのです。

初代先生を導いたのは教会の先生ではなく信者さんでした。しかし、その信者さんは、教会の先生のお取次を受け、自らが助けられた体験、神様のお話を初代先生にされたそうです。「私を助けてくれた神様が、あなたを助けてようと願っています」、それを人に伝える。神様と人の間を取り次ぐ。これこそ「お取次」に違いありません。

初代先生は神様の話を聞いて、「フーン、そういう神様がいるんだ」、「まあ祈るぐらいなら」という気持ちで神様に願ったのでしようが、知らず知らず信者さんを通じ神様を知り、半信半

疑ながらも自らが神様に心を向けた、それも教会の先生の名を唱えて神様に願った。教会の先生と信者さんを通じ、つまりお取次を通じ、神様を知り、その神様に心を向け願ったことで、神様のおかげが現れたのです。



大正六年、初代（右）と初代を教導した国光教会の渡辺丑五郎先生（中央）

渡辺先生は、気仙沼教会長だったが、北海道で布教もしていた。

○

教祖様が信者さんに「神様のおかげは、それぞれの真（心）にうつる影のようなもの」と教えているように、神様のおかげは、それぞれが神様に心を

向けることで受けるものです。また教祖様は「私はおかげの受けはじめです。あなた方もそのとおりおかげが受けられます。」とも諭されています。誰もが、自分で神様に心を向けさえすればおかげを受けることができます。

ただ、そのためには、天地金乃神様のことを知らないといダメですすよね。お取次を通じて神様と人間、神様と私の関係を教えてもらってください。

そして、こんな神様がいるのか？半信半疑でも構いません。神様に心を向けてみてください。

「初代先生たちを助けてくれた神様が、あなたを助けたいと願っています」。

道東地区教会 関係教会 春の大祭日程

釧路教会	5月25日(日)	午前11時
北見教会	5月3日(祝)	午前11時
帯広教会	4月20日(日)	午前11時
網走教会	5月18日(日)	午前11時
夕張教会	4月29日(祝)	午前11時
函館教会	5月13日(火)	午後1時

ご都合のつく方は参拝させていただきましよう

教会日誌

令和7年1月1日から3月31日まで

1月1日 令和七年元日祭。

1月4日 帯広市、A家・K家、合同年頭感謝祭・式年霊祭。

1月7日 士幌町、K家、年頭感謝祭・樹木伐採安全祈願祭。

1月8日 薫別講社、年頭祭。

1月8日 池田町、M家、年頭感謝祭。

1月19日 芽室町、M家五十日祭・合祀祭、納骨之儀。

1月24日 札幌市、T家、I社、B社、年頭感謝祭・交通安全祈願祭。



写真 元日祭

十勝は例年になく雪の少ないお正月でした。今年から、お屠蘇は御神酒をやめて「お屠蘇茶」になりました。



千鶴子先生とは旧知ということで、十勝教会にもお参りになりました。

写真 信徒会講話会
北海道教区信徒会の講話会の様子。講師は元金光図書館長の金光英子先生。講

3月22日 道東地区教会連合会総会、十勝教会。

3月20日 春季霊祭。

3月10日 芽室町、M家百日祭・式年霊祭。

2月18日 元牧場教会長葬儀式、教会長会葬参拝。

2月9日 やつなみ会・教会新年会。

2月4日 十勝地方記録的な大雪。

1月25日 北海道教区信徒会講話会、札幌南教会。講師・金光英子先生。

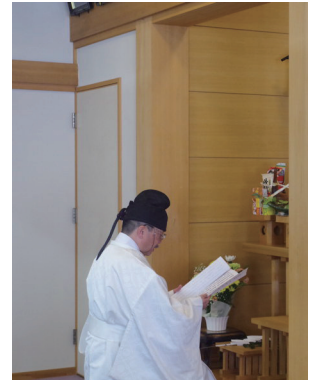


写真(左2枚) 新年会
去年再開した新年会ですが、今年も楽しく、賑やかな新年会になりました。来年はみなさんもお参加ください。



写真(右2枚) 2月4日の大雪
記録的な少雪から一変、観測史上最大、一晩で1メートルの降雪を記録しました。

写真 春の霊祭
先月の大雪もお彼岸には
ほとんど消え、残雪の合
間に福寿草が咲いていま
した。



この後の主な教会の祭典と行事

薫別講社天地金乃神大祭

5月初旬

境内整美の日（草刈りと整備）

6月1日（日） 午前9時30分 7月中に1回 ※雨天・猛暑は中止
お手伝いできる方はよろしくお願いします！

上半期感謝祭（夏越祓）

6月29日（日）午後1時30分

教会設立記念祭・布教功労者報徳祭

8月11日（祝）午後1時30分

秋 季 霊 祭

9月23日（祝）午後1時30分

秋の大祭前大掃除

11月9日（日）午前9時30分

生神金光大神大祭（秋の御大祭）

11月16日（日）午前11時

滝上礼拝所、薫別講社秋の御大祭 日程調整中

越年祭（年越大祓）

12月31日（水）午後1時30分

道東地区教会連合会交流会（懇親会）と研修会 のお知らせ

毎年恒例の道東地区教会の交流懇親会と研修会が、
今年も7月に開催されます。

日時 交流会 7月5日（土）午後5時

研修会 7月6日（日）午前9時30分

会場 釧路教会

詳細はあらためてお知らせします。参加を考えてい
る方は、教会までお知らせください。

道東地区各教会・関係教会

秋の大祭日程

釧路教会	10月26日（日）
北見教会	11月 3日（祝）
帯広教会	11月 9日（日）
網走教会	10月19日（日）
夕張教会	11月 3日（祝）
函館教会	11月13日（木）

天地金乃神大祭ならびに初代教会長百年祭次第

金光教十勝教会

- ・「神人の栄光」斉唱
- 祭員参向着席
- 拜 礼
- 神前拝詞奉唱
- 取次唱詞奉唱
- 祭主祭詞奏上
- 祭主玉串奉奠
- 天地書附奉体
- 参拝者代表玉串奉奠
- 神徳賛詞奉唱
- 拜 礼
- 天地金乃神大祭

- 初代百年祭
- 拜 礼
- 霊前拝詞奉唱
- 祭主霊祭詞奏上
- 祭主玉串奉奠
- 遺族親族、参拝者代表玉串奉奠
- 祖先賛辞奉唱
- 拜 礼
- 祭員退下
- ・御神伝奉読
- ・教会長挨拶

一、天地は神のふところ
人はみな神のいとし子
かぎりなき神徳のなかに
生かざるわれ等うれしき

二、人の世にとわの光を
いとし子につきぬみかげを
誓わしし教祖の神に
救わるるわれ等うれしき

食 前 訓
食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓
体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり